

3学年だより

仙台市立第一中学校
第22号

令和4年8月31日(水)

夏休み明け全校集会 学年代表作文

8月26日の全校集会で、学年を代表してE・Rさんが「一学期後半の抱負」と題した作文を発表しました。発表した原稿を掲載します。御一読ください。

1学期後半の抱負

3年2組 E・R

私が一学期後半で頑張りたいことは二つあります。

一つ目は部活動です。私が所属する吹奏楽部では昨年のコンクールで宮城県で最優秀賞である海鋒義美賞を頂きました。当時、もちろん嬉しかったのですが、ここまで導いてくださったのは三年生の先輩方であって、自分は貢献できていたのだろうか、という思いになりました。そして、自分が三年生になった今年のコンクールでは小学生に頃や昨年とは違う最上級生としての責任感を強く感じ、自分がしっかり吹いてパートを引っ張らなければ音楽は前に進まないことを痛感しました。自分の技術面や、後輩への指導の仕方でも悩んだり、しっかり結果は残せるのかということに焦ったりすることもありました。特に悩んだことは、私が担当しているトランペットはバンド全体でみても、メロディーを吹くことが多いのでメロディーとして自分の音色がふさわしいのか、というところです。そのため、自分の音色と一対一で向き合いながら練習することに気を付けました。自分の音だけでなくパートのこと、金管楽器のアンサンブル、バンドとしてのまとまりなど様々なことを意識しながら演奏することの難しさに苦労し、時には思い通りに音楽が進まないこともありましたが、しかし、全体に視野を広げられたことで誰一人必要のない人はいなくて、一音でも欠けたら良い音楽はつくり上げることはできないことに気が付きました。その結果、先月行われた吹奏楽コンクールの地区大会、県大会共に金賞を頂き、県大会では昨年同様、海鋒義美賞を頂きました。この結果を知ったときは悩んだのも無駄ではなかった、と感じ心から嬉しかったし、昨年の自分もきっとバンドに貢献できていただろう、と思えました。八月二十八日に行われる東北大会では県大会前に気づけたことを心に留めてホールに一中にしかできない演奏を響かせます。そして残り少ない部活動の時間を楽しんで全力でやり切れたと思える最後にしたいです。

二つ目は受験生としての自覚を持って生活することです。夏休み中に受験した模試では思い通りの点数をとることができませんでした。今のままの成績では志望校に届かないと焦りを感じています。しかし焦るだけでは何も変わらないので一つ一つ自分の弱点と向き合い、これからの時間を常に受験を意識して生活したいと思います。

以上の二つを意識し、一学期後半の学校生活を充実したものにしたいです。

学習文化発表会が延期(9/29)になりました！ 百花繚乱 ～主役しかいない物語を～

昨日お知らせしたように、文化部の皆さんが、3年間、情熱をかけてじっくりと取り組んできた活動や作品を披露する学習文化発表会が、9月29日に延期されました。今週は連日リハーサルが予定され、ハードな1週間が予想されていましたが、1ヶ月持ち越しとなりました。緊張感を継続させるのは大変ですが、前向きに考え、3年間の集大成を、思う存分発揮してほしいと思います。